

全学年合同の運動会

前年度までの3ヶ年間は、コロナ禍のため学年ごとで開催してきました。5 類に移行した今年は、全学年合同の運動会を開催することができました。嬉しい限りです。

当日は、子ども達の「運動会が楽しみだな、早くしたいな」という願いが叶い、素晴らしい天気になりました（運動会には、ちょっと暑すぎる天気でしたが…贅沢は言えません）。保護者の皆様方には、早朝から参観いただき、子ども達への熱い声援に感謝しています。大変、盛り上がりました。ありがとうございました。

また、早朝より会場設営のためのテント張りや、運動会終了後のテントや用具等の撤収にご支援いただき、誠にありがとうございました。小学生になった卒園児が、運動会で使った用具類を幼稚園まで何往復もして、運んでくれました。大変、助かりました。

2 学期に入って、運動会に向けての活動がスタートしました。しかし、9 月上旬は、園庭が 35℃を超えた猛暑日が続き、外での活動が出来ない事がありました。中旬以降は、インフルエンザ等の感染症で体調を崩す子ども達が多く、クラスの全園児が揃って活動することは、ほとんどありませんでした。

小学校の運動会では、時間割に運動会の練習を位置づけ、ダンスや競争遊戯、走などの種目をみんな一斉に繰り返して練習していきました（私の経験）。

筑女幼稚園では、教師が日常の保育活動の中に、運動会の種目（内容）に繋がる活動を仕掛けます。最初は、興味・関心を持った子ども達の活動からスタート。活動の楽しさを子ども達と共有しながら、違う遊びをしていた子ども達も取り込み、クラス全体へと広がっていきます。また、園庭から教室に戻る時には、教師が地面に足でラインを引いて、「靴箱まで…よ～い、どん」とかけっこで戻るなどして、運動会を念頭に置いて教師が子ども達と関わっていました。

だから、35℃を超えて園庭が使えなかったり、子どもが全員揃っていなかったりすると、活動する時間が足りなくなってしまうがちです。その限られた時間の中で、教師の工夫した意図的な仕掛けで、子ども達は練習をし、当日を迎えてきたのです。



年少は、初めての運動会でした。「ポポポポポーズ」の曲に合わせて、「シャキーン」など色々なポーズを決めていました。とても可愛かったです。また、「かけっこ」も、結構、真っ直ぐに走っていて、ビックリしました。最後まで、元気で、しんがり楽しんでいました。

年中の「ダンス、パラバルーン」では腕に付けたキラキラがリズムカルに光って、綺麗でした。また、パラバルーンでは、皆で息を合わせて技を披露しました。これまで見た中で、一番大きな風船を完成させていました。お見事でした。「かけっこ」では、カーブを上手に走り抜けながらトラックを半周しました。



年長は、年長でしか踊れない憧れの曲「ソーラン節」にチャレンジしました。力強いリズムに合わせ、隊形移動も取り入れながら、勇ましく踊ることができました。また、掛け声も大きく、とても素晴らしかったです。「リレー」では、それぞれが必死に走っている姿が印象的でした。各クラス共、秘密の練習をしていました。最初の頃に比べると、皆さん、とても速くなっていました。

運動会の余韻…

玉入れやリレー、ソーラン節など学年・学級の壁を越えて、運動会ごっこが盛ん。ただ今、スポーツの秋を満喫中！です。

